

管理担当理事からの「人事院勧告」の扱いについての報告及び懇談会の記録

- ・ 日時場所：2009年3月26日（木）15:00～16:00 新蔵事務局第3会議室
- ・ 組合側出席者：中央執行委員長、書記長、労働問題小委員長
- ・ 大学側出席者：管理担当理事、総務部長、人事課長、陪席として3名

まず、組合側が、持参した文書「「メルマガ配信の停止申し入れ」の理由について」「徳島大学における事務職員の労働状況改善に向けての調査等の要求」を大学側に提出した。

全文はこちら：

「メルマガ配信停止申し入れの理由について」

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/mailmagazine/20090326-2.pdf>

「徳島大学における事務職員の労働状況改善に向けての調査要求」

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/adhoccommittee/20090326.pdf>

会談の最初に、管理担当理事より、「俸給の据え置き・労働時間の一日あたり15分短縮（7時間45分労働）という人事院勧告について、他大学の状況などを見た結果、09年4月1日からの実施を見送ることを決定した」との公式の報告があった。

その後、意見の交換（個人的見解を交えての懇談）を行った。以下はその概要（発言内容は適宜要約したもの）。

組合「いつから実施する予定なのか？」

大学「1年間、様子を見たい。その間に、残業や仕事量の実態調査を行う。」

組合「残業は、今年の6月にいちおう申請方法が変わったので、それ以降から今年の6月まで調査すれば概ね1年間の実態が分かるので、それをもとに分析するとして、実施については半年後にもう一度検討する、ということでしょうか。」

大学「この件についてはこれからも何度か懇談会を持ちたい。6月には第二期の中期計画が固まってくる。秋ごろまでその件につき、いろいろあるだろう。」

組合「数ヶ月のうちにもう一度懇談会を持って検討するということでした。ところで、どういう状態になれば、ゴーサインが出るのか？先の懇談会では、全職員が月あたり1時間残業を減らせば人件費は現状維持となるという試算を出されたが、他にデータなどがあるのか？」

大学「<残業 1 時間撲滅作戦>などをやれば、それは実現できるかもしれないが、それで徳島大学が生き残れるか、という問題があるので、簡単ではない。」

組合「具体的に、どういう方向で乗り切ろうと考えているのか？」

大学「職員の質の向上で、たとえば今まで 2 人がかりでやっていた仕事を 1.5 人でやる、そのために研修などを行う。事務職員でも、提案型の仕事、クリエイティブな能力が重要な部分がある。そうした部分で能力を高めることで省力化し、他の部分に回す。データ入力など単純作業はパート化する。」

組合「現状でも既に、かつては 2 人がかりでやっていた仕事を 1 人でやる、ということが常態化している。また、現場の職員の話を見ると、仕事の量が多すぎて、新しいことを考える時間的、精神的余裕がない、という声をよく耳にする。研修の時間が仕事を圧迫するということもある。一般論としては、研修などによって能力を高めるといのはたしかに正論だが、具体的、現実的には、どのような研修を考えているのか？」

大学「課題解決型、若手研修型、他機関との人事交流など、今春からも始めている。開放実践センターでの SD 研修にも参加させている。能力の高い若手を集めて、自発的に提案を行うような研修を行いたい。」

組合「自発性が大切であることは確かだが、集めてきて何かやれ、というのでは、そうした能力は育たないのではないか。」

大学「まずは集めてきてやるという場を作らないと始まらないではないか。」

ここで、持参した文書「徳島大学における事務職員の労働状況改善に向けての調査等の要求」をもとに議論することとし、文書の概要について説明した。

文書については、懇談会などの形で回答を受けることとした。

大学「ところで、管理担当理事として聞きたいのだが、どうして事務職員、事務職員と問題にするのか。教員からも、書類作りや業績評価などに時間を取られて研究時間がなくなった、という訴えがあるが。」

組合「それは、事務職員の勤務実態を知ってしまったからです。たとえば、総合科学部のある職員は、朝の 8 時半に出勤して、翌日の朝 5 時まで勤務、それで自宅に帰って風呂だけ浴びてまた 8 時半に出勤、その翌朝も 5 時、それが三日続いたという。その人だけではない。総合科学部では、ここ 2 年間、ほぼすべての職員が深夜にいたる残業、休日出勤を行っていた。」

大学「それはひどい話だ。しかしそれは、総合科学部の改組が原因で、一時的なものではないか。そうした事態が繰り返されないように、ということか？」

組合「総合科学部は改組が原因だが、蔵本の事務などでは、3 月 4 月はいつも深夜 12 時を過ぎても電気がついている。過剰労働が常態化している。」

最後に、文書「メルマガ配信の停止申し入れ」の理由について」について説明した。
この文書についての回答は書面で受け取ることとした。

以上。